



2学期終業式 ～「進」から「化」へ

今日で2学期が終了します。皆さんの授業や部活動などの様子を見てきて、それぞれの学年において成長の跡が見られた学期となり、漢字で表せば、生徒会目標の「進化」の「進」といえるでしょう。

まずは、3年生です。開校以来初めての金沢市の3つの賞(宮村、高峰、岡文化)を受賞するという快挙に加え、スポーツ、俳句、音楽等、様々な分野で活躍がありました。もちろん受賞した本人達の努力はありますが、集団としての力が高まっていたことも大いに影響したと感じます。農業でも、「良い作物を作るには、良い土壌が必要である。」といわれるように、学年集団として何事にも真摯に努力する雰囲気(土壌)があったからこそ素晴らしい結果が生まれたのです。

2年生は、部活動の主役が自分たちになり少し顔つきが変わりました。そして、わく・ワーク体験を通して、学ぶ集団としての雰囲気が肌で感じるほど良くなってきました。授業中の姿勢も美しくなり、場面に応じた適切・的確な話し方や考えた行動ができるようになってきています。

1年生は、1学期の頃、私が教室に入ると後ろを振り向く人がいましたが、最近は授業によく集中しています。姿勢は2, 3年生には及ばないものの、話を聞く力も着いてきました。積極的に発言できるところがこの学年の良さですから、お互いに教え合って高まる雰囲気ができるとさらに成長できます。

ただ、個人個人で見れば、思い通りにできた事とそうでなかった事があるでしょう。上手くいかなかった事については、反省するしかありません。自分の悪かった部分を認め、どうすれば改善できるか考える必要があります。反省は辛いですが、その辛さが自分を成長させる薬になります。

また、ある程度思い通りにいったという人もそこで油断をしないでください。結果を出す人と出し続ける人の違いは、上手くいっているときこそ次に向けての準備をしっかり行っています。(スケートの羽生選手がまさにそうです。)

ぜひこの冬休み、家族と楽しいひとときを過ごすとともに、反省すべきこと、次に何を準備するかを考え、それを新年の誓いとして、最終的には一人ひとりが成長を実感できる(「化けられる」)3学期にしてください。

